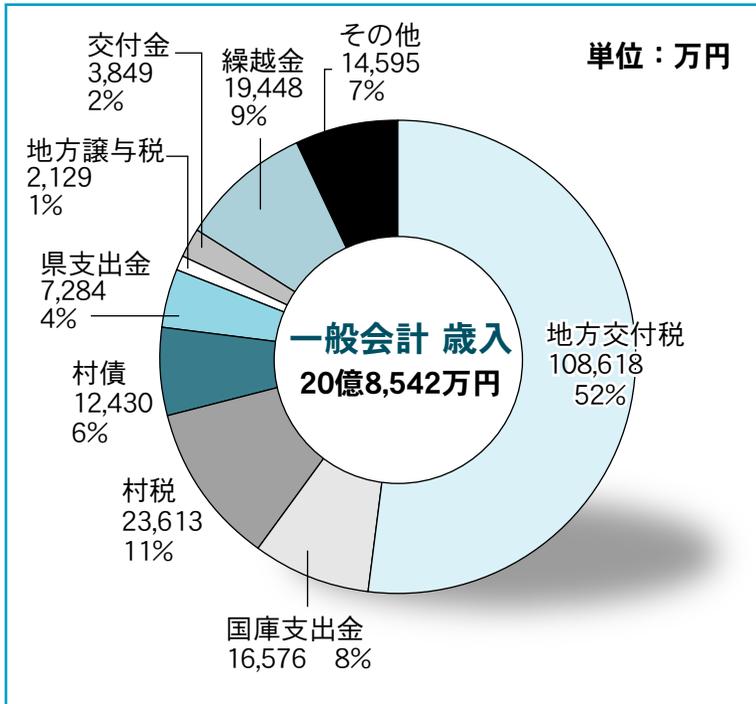


平成26年度決算報告

平成26年度決算が9月に開催された村議会定例会で認定されました。一般会計では、歳入総額が20億8,542万円、歳出総額が19億8,016万円、27年度へ繰り越しました。これは、平成25年度と比較すると、歳入で4億8,508万8,324円(18・87%)、歳出で3億8,886万5,131円(16・41%)の減額となっています。

平成26年度一般会計の状況

歳入総額 20億8,542万円
 歳出総額 19億8,016万円
 差し引き 1億 526万円
 の黒字決算となりました。



歳入

平成26年度は、25年度と比較して、歳入が約4億8,509万

円の減少となるなか、歳入に見合った行政運営が行われました。昨年度と比較して、地方交付税をはじめ、国庫支出金など多くの

の費目において減額となりましたが、繰越金のほか、交付金、諸収入、寄附金などの費目でも増額がみられました。

主な費目の概要は次のとおりです。

地方交付税は、財源不足を補うため国から交付され、村の歳入の骨格となっており、25年度に比べ約4546万円の増額となりました。

村税は、村民の皆さんから納めていただいた固定資産税や住民税で、村の自主財源のほとんどを占めているものです。人口の減少などにより25年度に比べ約946万円の減額です。

村債は、村が事業を行ううえで、財源不足を補うための借入金で、将来交付税措置される有利な特例地方債(臨時財政対策債)および過疎対策事業債ならびに学校教育施設等整備事業債を借入れています。25年度に比べ約1億4,290万円の減額です。

特別会計の決算状況

会計区分	収入済額	支出済額	歳入歳出差引額
国民健康保険	5億4,524万円	4億9,142万円	5,382万円
介護保険	4億5,396万円	4億5,384万円	12万円
浄化槽設置管理	3,716万円	3,628万円	88万円
後期高齢者医療	3,361万円	3,326万円	35万円
簡易水道	9,811万円	9,806万円	5万円

を取り崩して繰り入れたもので、25年度に比べ約2億1,539万円の減額となりました。

繰越金は、次の年度に引き継がれる費目であり、25年度に比較して約3726万円の増額でした。